

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2018年2月
コンサベーション・インターナショナル



農林水産省の技術スタッフが、TaTay Leu 村の Spean Kdar 地域で、田んぼの土壌汚染について村人にインタビュー @CI/Narin, 2017

10 月から 12 月にかけて、環境省と協力してパトロールと違法行為の取り締まりを行い、中央カルダモン国立公園の管理をサポートしました。生物多様性研究や、コミュニティの支援も行いました。

パトロールと違法行為への対応

今期は、のべ 194 回のパトロールを実施しました。その結果、120 本の丸太、約 8.4 立方メートル 7,490kg の木材、16 台のチェーンソーを没収し、22 個のわなを撤去、1,891 台の車両を検問、

違法な土地の開墾で 3 件を訴訟に持ち込み、4 台のハンドトラクターの所有者に罰金を科し、3 名に対して警告をしました。

これまでのパトロールを振り返り今後の計画をたてるため、Rolek ステーションと Thmar Baing ステーションで、中央カルダモン国立公園を管轄する CI と環境省のレンジャーたちと、中央カルダモン国立公園に隣接する南カルダモン国立公園を管轄する国際 NGO ワイルドライフ・アライアンスと環境省のレンジャーたちが集まって、2 回の会合が開かれました。その結果、中央カルダモン国立公園内の 3 箇所のレストランで計 5 回のパトロールが行われ、6 台のチェーンソーが押収されました。

ポーサット州の Kravanh 区と Veal Veng 区の区長を招いて会合を開き、中央カルダモン国立公園のパトロール活動について説明をしました。懸案事項は、パトロールチームがガバナンスや日常の業務に関して地域コミュニティと密接な関係のある地元政府から、パトロールがコミュニティに悪影響を与えていると圧力を受けていることです。例えば、パトロールの結果、地元の人々が政府関係者に否定的な態度をとるようになったということです。この会合は、区長たちに森林と環境に関する法律とその手続きについて説明する良い機会となりました。

プロジェクトでは、レンジャーのブーツなど、任務を遂行するために必要なフィールド用の装備も購入しました。

複数あるステーションのマネージャー達が参加する毎月の定例会議は、環境省で二回、Rovieng 郡で一回開催されました。会議では、過去の活動と課題を見直し、翌月の計画をたてました。マネージャーたちがお互いに情報を共有し、活動の調整をしあえる重要な会議です。



Rovieng ステーションで押収された、7 トンを超える絶滅危惧種のローズウッド (*Dalbergia cochinchinensis*, Pierre) の木材 (2017 年 11 月)。



Rovieng ステーションで没収された不法運搬の木材（2017 年 11 月）



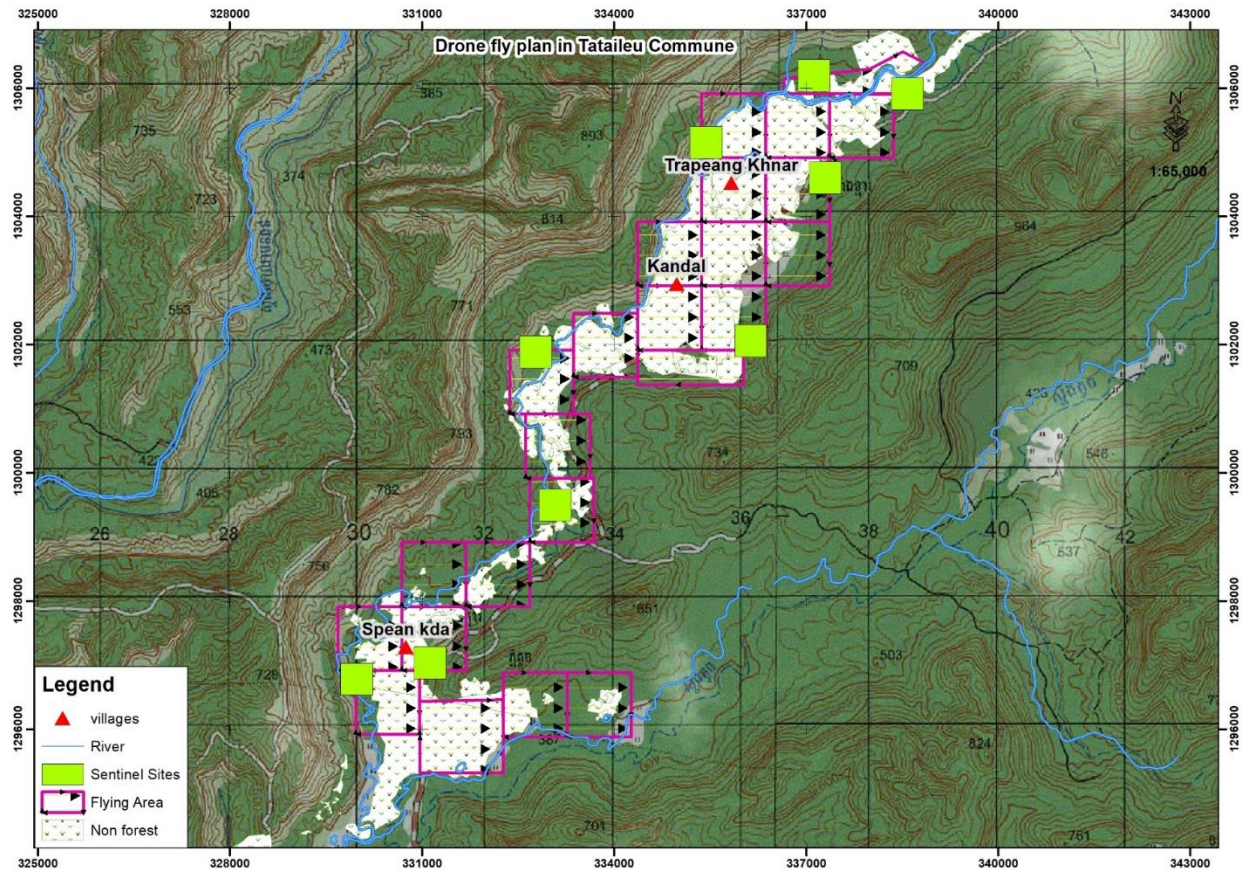
中央カルダモン国立公園と南カルダモン国立公園のレンジャーたちによる共同パトロールで 6 台のチェーンソーを押収（2017 年 11 月）



環境省レンジャーが Tatay Leu 村における土地の違法侵入を査察（2017 年 11 月）

生物多様性の調査

監視サイト：Tatay Leu 村での生物多様性の基本データ（地図と調査計画）が作成され、来期にはベースライン調査が始まる予定です。



Tatay Leu 村のドローンの飛行計画地図

コミュニティの代替生計手段

CI のサポートを受け、地元のパートナーである SCW（Save Cambodia's Wildlife）は、2017 年 11 月に Tatay Leu 村の各地域でトレーニングを行い、保全契約の内容を説明しました。

SCW と CI は、Tatay Leu 村における現在の組織体制の評価を行いました。エコツーリズム、パトロールチーム、生産者グループなどの委員会が含まれる、新たなコミュニティ体制をつくるためです。来期に組織の体制を新しく整えたのち、メンバーの能力開発を行う予定です。

社会経済データについてのベースライン調査を実施する予定です。社会経済について、Tatay Leu 村への現地視察の内容をふまえて、第一弾の質問票を作成しました。

政府の技術部門との関わり：

農業総局農業土地資源管理部門の技術スタッフが Tatay Leu 村を訪れ、土地処理の管理の適切さ、作物、樹木、収穫の季節の適格性を調べました。その結果を考慮して、作業計画を作成しました。

エコツーリズムと生計手段に関する環境省の部署が会合を開き、プロジェクトに含まれるエコツーリズムの要素や NTFP による収穫、マーケティングにかかわる規制について話し合いました。

ココン州の観光局との会議も開かれました。

生計手段向上の観点から、3つのワークストリームを展開

アグロフォレストリー：

アグロフォレストリーシステムの対象地域で導入する樹木や作物の種類が特定されています。アクイラリア（沈香の原料のひとつ）、レモングラス、カルダモン、パパイヤ、ドリアン、グリーンオレンジ、マメ科の植物、野菜などです。

アクイラリアのプログラムでは、長期そして短期で利益が得られる取り組みを組み合わせています。樹齢8年以上で規定以上の胸高直径がある木が選ばれ、一年でアガーウッドを形成するよう誘導するために、米国農務省が承認した有機処理方法で処理をしました。また、長期的および短期的な収入を得る機会を確実にするために、コミュニティが参加して新しい樹木の植え付けも実施する予定です。これまでに実施したことは以下の通りです。

- アクイラリアの木の処理と収穫を既に実施しているケップ州への視察に、3つの村（Tatay Leu 村、Russeï Chrum 村、Thma Doun Pov 村）から村人が参加しました。
- 10月12日から16日までの間に、16本の木が処理（接種）されました。二度目の接種は2018年4月の予定です。

グループの形成

- Tatay Leu 村で、レモングラスオイルの調査グループが結成されました。グループは、2つの村からの6名で結成されています。規則も制定されました。
- オイル抽出機がTatay Leu 村に導入され、11月には初めてのオイルが作られました。

果物の生産/マーケティング/サプライチェーンの開拓

- 国際的な化粧品/美容製品会社が、サプライチェーンにアガーウッドを取り入れる可能性を検討するためにサイトを訪問しました。
- ドリアン、ランブータン、マンゴスチンについては、小売業者とコミュニティとの間での協定の締結に向けて準備しています。

非木材林産物（NTFP）：

州の森林局や Koh Kong という町の民間事業者等のステークホルダーが参加して、NTFP の事前調査が行われました。調査の結果、可能性と問題点がはっきりしました。特定の NTFP の調達に関して、プノンペンのレストランと協力することになりました。

Pierre Fabre との関係は、この数ヶ月で進展しました。作業計画、コミュニケーションプロトコル、実施計画が実行段階にあります。樹脂とカルダモンを中心に、多くの種類をテストしています。



Tatay Leu 村での保全契約の内容を理解するための会合①（2017年11月）



Tatay Leu 村での保全契約の内容を理解するための会合②（2018 年 1 月）



国際的な化粧品/美容製品会社の担当者がケップ州のアガーウッドオイルの蒸留施設と、CI プロジェクトの化学接種実験サイトである Tatay Leu 村および Thmo Don Pov 村を訪問（2017 年 11 月）



生産者グループは、2017 年 12 月に Tatay Leu 村でレモングラスオイルを蒸留



Tatay Leu 村の魅力的なエコツーリズムのサイトに到達できるよう、橋と道路を改装の予定

パートナーシップ：

CI は、レモングラスオイルを生産するための設備を導入する生産者グループと、活動計画を最終化するために国際 NGO の Fauna & Flora International (FFI) と話しあいました。

Thmar Baing 地区長と会い、CI の活動を報告して、CI のパートナーである地元 NGO の SCW (Save Cambodia Wildlife) を紹介しました。

プノンペンのレストランやショップとのパートナーシップが勧められています。

共同パトロールとエコツーリズムの実施を計画するために、ワイルドライフ・アライアンスとのパートナーシップが確立されました。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。